



れんかく



医療社会事業部長就任あいさつ



副院長
中岡 光生

4月1日付で医療社会事業部長を拝命した副院長の中岡です。現在、医療社会事業部とは何か？具体的な仕事の内容はどんなことがあるか？少しずつ教育、指導を受けているところです。

医療社会事業部は、年々、その果たすべき役割が大きくなっています。必然的に昨年、濱本前部長のもとで組織改編がなされました。医療社会事業部は、地域医療連携課と医療社会事業課の二つに役割分担されています。

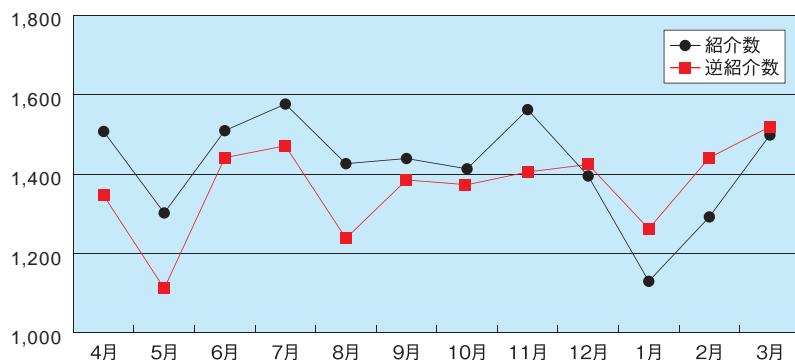
地域医療連携課は、斎藤課長のもと、地域連携業務と病床管理業務を担っています。その中で、病床管理に関しては、今年に入ってから満床が続いている、毎日つなわたりで入退院の調整を行っています。地域医療連携課看護師と各病棟看護師長が病床の調整を行っており、看護師長達の手腕にはただただ驚嘆し、傍観するのみです。松江赤十字病院の看護師さんの病院経

営への意識の高さに敬服しています。地域医療連携業務では、開業医の先生と当院の先生方との間をとりもって、斎藤課長が奮闘しています。忙しい中、面倒をお願いすることもあるかと思いますが、先生方のご理解、ご協力を願います。その他、地域連携パスや、押しかけ勉強会のお手伝いをさせていただいている。

医療社会事業課は、杉谷課長のもと、災害救護、学校検診、巡回診療、健康医学講座、患者会などの社会事業と、退院支援、福祉相談、介護相談、がん相談支援、DV、虐待等の相談業務を分担しています。膨大な業務内容ですが、杉谷課長の優れたマネジメント能力でフル回転で仕事をこなしています。

就任して間もないですが、松江赤十字病院における医療社会事業部の果たすべき役割の大きさを改めて再認識しています。メンバーが少しでも仕事がやりやすく、誇りが持てるようお役にたてればと思っています。よろしくご指導、ご鞭撻いただきますようお願い申し上げます。

平成22年度紹介・逆紹介件数



放射線検査予約について

インターネットを利用した
オンライン予約サービス
C@RNA Connectのご案内

地域の診療所様との「病診連携」の一環として、インターネットを利用したオンライン検査予約システムを提供させていただきます。ご登録いただければ、土日を含めた365日24時間いつでも検査の予約が可能です。PET、RIは前々日までのご予約となります。

新任医師紹介

2月～4月に新しく採用になった医師を紹介します。

原田 真梨



2月から麻酔科に赴任した原田真梨と申します。手術を受ける患者さんの麻酔管理を担当させていただきます。手術は不安も多いと思いますが、術中術後ともに快適に過ごしていただけるように頑張りますのでよろしくお願ひいたします。

産婦人科

川上 伸兒



東京生まれですが、松江在住が長くなり、松江が一番の「ふるさと」になりました。産婦人科医になって42年が経ちました。及ばずながら皆様のお手伝いができればと思っています。

血液内科

井手 宏明



2011年4月1日から血液内科に赴任して参りました、井手宏明です。一人ひとりの患者さんに誠意ある医療を提供できるよう努力いたしますので、よろしくお願ひ申し上げます。

血液内科

越野 康之



4月から松江赤十字病院血液内科で働いております。入院中、退院後の生活ができるだけ充実したものになるようお手伝いできたらと思っております。何卒よろしくお願ひいたします。

呼吸器内科

中崎 博文



鳥取大学医学部附属病院より参りました中崎博文です。肺炎、喘息、肺癌など呼吸器疾患を中心に診療いたします。松江のことはほとんど分かりませんので、公私ともにいろいろ教えていただけると幸いです。よろしくお願ひいたします。

研修医紹介

松田 紘治



一つ一つ誠意を持って取り組みます。

竹林 友美



元気だけが取り柄です。頑張ります。

田中あゆみ



向上心と優しさを忘れずに。

今岡慎太郎



思いやりの気持ちを忘れずに行動します。

松村晋矢



フットワークを軽くしていきたいです。

岡野 優子



思いやりをもつて、がんばります。

循環器
内科**近藤 健人**

4月に鳥取大学から来ました。不整脈に対するカテーテルアブレーション、ペースメーカー治療、埋込型除細動器手術、虚血性心疾患に対するカテーテル治療を中心勉強しておりました。少しでも多くの患者さんの笑顔が見られるよう、またこの地域の医療に少しでも多く貢献できるよう頑張りますのでよろしくお願いします。

形成
外科**福井 季代子**

4月より形成外科で勤務させていただきます。島根県の中核病院の一つである松江赤十字病院で働けることをうれしく思っています。精一杯頑張りますのでよろしくお願ひいたします。

形成
外科**塙田 圭輔**

このたび初期研修が修了し、形成外科で働くかせていただきました。患者さんとの対話を大切にして日々の診療にあたっていきたいと思います。気軽に声をかけてください。よろしくお願いします。

放射
線科**三好 秀直**

本年4月より鳥取大学から、松江赤十字病院放射線科に赴任しました。松江市での勤務は初めてですが、病院も新しく快適です。放射線部門で、これまでの経験を生かし、心機一転、頑張りたいと思います。開業の先生方には、画像検査に関して患者様を御紹介いただき、ありがとうございます。今後とも、よろしくお願い申し上げます。

歯科口
腔外科**奈良井 節**

4月から歯科口腔外科に赴任してきました奈良井節と申します。松江市の口腔の健康を保てるよう頑張りますので、よろしくお願ひいたします。

3~4月の退職医師	
副 院 長 浜 本 隆 一	第一産婦人科医師 加藤雄一郎
血液 内科 医師 足 立 康 二	放射 線科 医師 西 原 圭 祐
循環器 内科 医師 嘉 悅 泰 博	麻 醉 科 医 師 榊 原 学
第一 外科 医 師 向 井 俊 貴	歯科 口腔 外科 医師 中 山 佳 奈
形成 外科 医 師 諸 岡 真	

**飯塚 均**

尊敬と思いやりを忘れずに頑張ります。

**石原俊太郎**

人生は
アマ・カラ・ビン

**門永太一**

一歩一歩確実に
歩んでいきたい。

**小山哲史**

愛される人、愛
される診療を目指します。

**倉敷朋弘**

良心に恵みぬといふ
ことだけが我々の確
かな報酬である。

**溝田陽子**

1日1日を大切に。

**岡野智仁**

初心を忘れずに、
患者さまに誠実
な対応を。



東日本大震災における対応について

この度、被災をされた方々、ご家族の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

日本赤十字社では、現在、被災地に救護班を派遣するなど、総力をあげて救護活動に取り組んでおります。松江赤十字病院からも、救護班として医師、看護師等を派遣しています。

● 松江日赤ブログより

人間を救うのは、人間だ。

救護班第2班で活動した乳腺外科の曳野です。

宮城県の石巻赤十字病院を中心に救護活動を行いました。（3月16日～3月20日）



報道での未曾有の大災害という言葉に実感が湧かないなか現地入りしましたが、実際に津波の被害にあった地域を眼のあたりにし、人間がコツコツと長い時間をかけて作り上げ、営んできた日常生活を一瞬のうちに瓦解させてしまう自然の脅威に愕然としました。



今回の災害は地震よりも、津波による被害がほとんどであり、「all or nothing」という状況で、津波にあわれた方の多くの方が命を奪われ、そうでない方の傷病は少ないという状況でした。

石巻赤十字病院の医療対象地域である石巻市と東松島市では、津波が仙石線、石巻線（？）よりも海岸沿い全体を一飲みにし、推定予想死者数は約1万人、避難民は約4万人と報告されていました。

私自身、阪神淡路大地震の際にも神戸長田地区に救護班として参加しましたが、被災地の状況は全く異なるものでした。



参加時には、震災発生後1週間経っても医療スタッフ、警察や自衛隊なども、全体像が把握できない大災害であり、重点地区の同定もなされていませんでした。

しかし、情報は徐々に集積され、混乱から統括への方向へと向かう時期と感じました。

3月17日には真冬並みに気温が氷点下まで下がり厳しい条件下でしたが、明るく助け合って生きようとする住民、地元を守ろうとする石巻日赤のスタッフ、そして全国から集まってきた日赤医療救護班の結束力に感銘を受けました。一時強盗被害や殺人などの風評被害も流れていましたが、津波は人々の心の絆までは流し去っていました。



大災害の前では個々の力は微力であり、役割分担を明確にし、組織で働く活動が求められるため、石巻赤十字病院の災害対策医療本部の指示に従い、救護活動を行いました。

一方、情報が錯綜し、全体像がつかめていない急性期においては、各チームの臨機応変に対応する柔軟性が求められており、スタッフの個々の知恵を集め、被災者の方に「明るく頑張れ」という応援メッセージが伝わるように尽力しました。

全国から集まった会議室あふれんばかりの赤いユニフォームに「人間を救うのは、人間だ。」という日赤精神を強く感じました。

また私自身も赤いユニフォームに袖を通す機会を望んでいます。

● 松江日赤ブログより

私のチーム

救護班第5班、皮膚・排泄ケア認定看護師の石飛です。

私たちは石巻専修大学周辺のエリアでの救護活動を行ってまいりました。（3月28日～4月1日）

3月11日東日本大震災のニュースが流れ、当院でもいち早くDMAT、救護班第1班の出動…

今でも私のパソコンには全国にいる皮膚・排泄ケア認定看護師の安否確認のメールが毎日送信されています。

そんな中、私にも何かができるのでは、何かがしたい、いつもたってもおれず救護班に手挙げしました。

私が一番緊張したのが出動前日の買い出しです。

買い出しを任せられた私は大きいカートを押しながら前日作成した買い出しメモを片手に食材を購入していました。

このメンバー7名の健康管理をしなければ・・足りなくなつては困るし・・腐ってはならない・・

「救護に行く者、元気で健康でなければ！」

とにかくそんな思いで何時間もグルグルと回っていました。そしてなぜだか徐々に手先が冷たく、心臓がドキドキし顔がこわばってきたのを今でも思い出します。



私たちは避難所・救護所で多くの方々の傍に寄り添い、声を聴き、手を差し伸べるよう努めてきました。

個々には初めての救護で不安や緊張もあったかも知れませ

んが、全くそんな素振りも見せず明るく凛とした姿勢で行動することができました。

それは、被災者の方々やボランティアの方々の元気や勇気、ひたむきな姿におのずと私たち自身同化していったような感覚でした。

「被災者のひたむきな姿に心を打たれた」

という垣羽班長の帰還報告、まさにその通り。

みんな目頭が熱くなってしましました、気持ちが一つになったチーム完成の瞬間でした。

この救護活動で語りつくせないくらいの多くのことを学ばせていただきました。

そのなかで認定看護師になって6年目、今まで実践を積んできたスキンケアや創傷処置が救護所で被災者の方々のお役に立てたことが、大きな喜びと誇りになりました。

救護最終日、綺麗な夕日をみることができました。

この真っ赤な壮大な夕日の下には、まだまだ多くの被災者が…

この空の下、早く心穏やかな生活が訪れる事を祈っています。



東日本大震災での救護活動		活動場所
松江赤十字病院	日本D M A T	[3月11日(金)～3月15日(火)] 石巻赤十字病院(宮城県)
医療救護班		[3月12日(土)～3月15日(火)] しあわせプラザ(茨城県)
医療救護班		[3月16日(水)～3月20日(日)] 石巻赤十字病院(宮城県)
医療救護班		[3月19日(土)～3月23日(水)] 石巻赤十字病院(宮城県)
医療救護班		[3月25日(金)～3月29日(火)] 石巻専修大学(宮城県)
事務支援要員1名		[3月24日(木)～3月30日(水)] 石巻赤十字病院(宮城県)
医療救護班		[3月28日(金)～4月1日(金)] 石巻専修大学(宮城県)
看護師支援2名		[4月3日(日)～4月10日(日)] 石巻赤十字病院(宮城県)
医療救護班		[4月7日(木)～4月11日(月)] 石巻赤十字病院(宮城県)
医療救護班		[4月16日(土)～4月20日(水)] 石巻赤十字病院(宮城県)
こころのケア指導員1名		[4月23日(土)～4月30日(土)] 宮城県石巻市
医療救護班		[5月2日(月)～5月7日(土)] 石巻赤十字病院(宮城県)
医師支援1名		[5月13日(金)～6月14日(火)] 石巻赤十字病院(宮城県)
医師支援1名		[5月23日(月)～6月4日(土)] 石巻赤十字病院(宮城県)
こころのケア班(看護師3名)		[6月5日(日)～6月11日(土)] 宮城県
看護師支援2名		[6月12日(日)～6月24日(金)] 石巻赤十字病院(宮城県)

地震の概要

- ①発生日：平成23年3月11日(金)14時46分頃
- ②震央地名：宮城県三陸沖[北緯38.0、東経142.9度]
- ③震源の深さ：約24km
- ④規模：マグニチュード9.0



研修会等のご案内

外来糖尿病教室

7/13
水

10:00～13:30 厚生棟会議室

「胰β細胞を守るには…」

- 今日からでも、私にもできること
- 自分量が多くなっていませんか？
- ワンポイントアドバイス 誰でも簡単にできる体操 Part.1 理学療法士 渡邊 剛
- 体験談「日々をいとおしんで」 すこやか会会員 田村 薫氏
- 食事会「あっさりだけどしっかりと～暑さに負けない元気メニュー～」

糖尿病・内分泌内科 部長 佐藤 利昭
管理栄養士(糖尿病療養指導士) 長谷 敦代
理学療法士 渡邊 剛
すこやか会会員 田村 薫氏

健康医学講座

6/10
金

14:00～15:30 厚生棟会議室

「東日本大震災～赤十字の使命と活動～」

ICU・CCU病棟看護師長 福田美知代

7/6
水

14:00～15:30 厚生棟会議室

「放射線科画像検査の実際」

放射線科技師長 益井 謙

8/24
水

14:00～16:00 厚生棟会議室

「災害時の高齢者生活支援講習」

日本赤十字社島根県支部 赤十字健康生活支援講習指導員

第9回地域医療勉強会

6/1
水

18:15～19:15 厚生棟会議室

「高齢者に適切な食事を提供しましょう～嚥下食の標準化と連携システムの構築を目指して～」

- 嚥下食ピラミッドによる食事の実際
- 嚥下障害者への食事介助のポイント

管理栄養士 安原みづほ
言語聴覚士 野津有希

第10回地域医療勉強会

6/15
水

14:00～15:00 厚生棟会議室

「スキンケア講座～褥瘡ケア基礎編～」

皮膚・排泄ケア認定看護師 石飛仁美

松江赤十字病院「がん・緩和ケア基礎コース研修」

6/8
水

17:15～18:45 厚生棟会議室

「第1回「緩和ケア概論 症状マネジメントⅠ」」

7/13
水

17:15～18:45 厚生棟会議室

「第2回「症状マネジメントⅡ」」

8/10
水

17:15～18:45 厚生棟会議室

「第3回「症状マネジメントⅢ」」

**地域医療連携課
職員構成が変わりました**



松江赤十字病院 地域医療連携課

〒690-8506 松江市母衣町200番地

TEL 0852-32-7813 FAX 0852-27-9261



左上より課長の斎藤、脇田、清水、林
左下より江角[新]、福田[新]